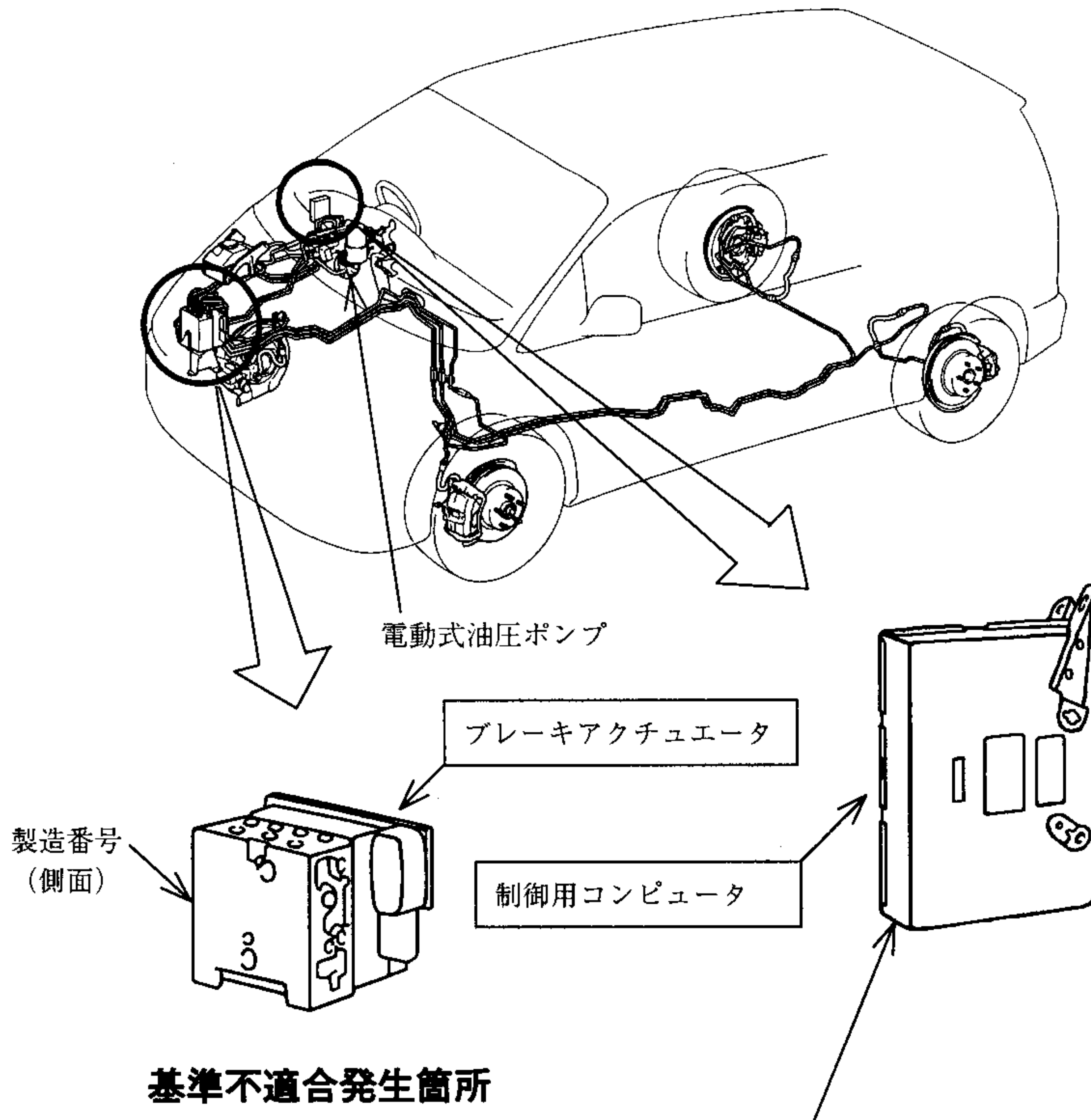


改善箇所説明図



電子制御式主制動装置において、加工不良によりブレーキアクチュエータ（油圧制御装置）に異物が噛み込むことにより油圧が低下した場合、制動用油圧を発生させる電動式ポンプの制御が不適切なためフェールセーフ機能が働かず、ブレーキ警告灯が点灯し警告ブザーが鳴った約5分後に当該ポンプの保護機能が働いてポンプが停止して油圧が減少し、制動距離が長くなるおそれがある。

注： は交換部品を示す。

改善の内容

- ① 全車両、ブレーキアクチュエータの製造番号を確認し、不良品（KC06～KI11）は良品と交換する。
- ② 全車両、当該制御用コンピュータを対策品と交換する。

識別：改善済車両にはエンジンルーム内にあるネームプレート下側に黄色ペイントを塗布する。